

情報連絡員総括表（2019年11月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(\text{好転組合数} - \text{悪化組合数}) / \text{調査対象組合数}] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2019年11月のDI値は、前月との比較において「業界の景況」を含む3指標において悪化する結果となった。「在庫数量」以外は基準値を大きく下回っている。

○「製造業」では、前月との比較において、「業界の景況」を含む4指標が悪化、「売上高」「収益状況」を含む5指標が改善する結果となった。

業種を問わず、先行き見通しを不安視するコメントが多い。米中貿易摩擦の影響が長期化している。

○「非製造業」では、前月との比較において、「収益状況」を含む4指標が悪化する結果となった。

消費増税の影響を大きく受けた先月よりは少し持ち直した様子。業種を問わず人手不足を懸念するコメントが多い。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2019年11月	-31.6	-16.3	-1.6	-10.0	-35.0	-15.0	-23.3	-20.0	-43.4
2019年10月	-40.0	-11.6	6.7	-6.7	-40.0	-15.0	-33.4	-23.3	-43.3
増減	8.4 ↑	-4.7 ↑	-8.3 ↓	-3.3 ↓	5.0 ↑	0.0 -	10.1 ↑	3.3 ↑	-0.1 ↓

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2019年11月	-36.7	3.3 ポイント	↑	-26.7	13.3 ポイント	↑	-31.6	8.4 ポイント	↑	2019年10月	-40.0	-40.0
	2019年11月	-13.4			-23.1			-16.3					
在庫数量	2019年11月	-13.4	-0.1 ポイント	↑	-23.1	-15.4 ポイント	↑	-16.3	-4.7 ポイント	↑	2019年10月	-13.3	-11.6
	2019年11月	0.0			-3.4			-1.6					
販売価格	2019年11月	0.0	-10.0 ポイント	↓	-3.4	-6.7 ポイント	↓	-1.6	-8.3 ポイント	↓	2019年10月	10.0	6.7
	2019年11月	-3.3			-16.7			-10.0					
取引条件	2019年11月	-3.3	-3.3 ポイント	↓	-16.7	-3.3 ポイント	↓	-10.0	-3.3 ポイント	↓	2019年10月	0.0	-6.7
	2019年11月	-33.3			-36.7			-35.0					
収益状況	2019年11月	-33.3	10.0 ポイント	↑	-36.7	-0.1 ポイント	↓	-35.0	5.0 ポイント	↑	2019年10月	-43.3	-40.0
	2019年11月	-10.0			-20.0			-15.0					
資金繰り	2019年11月	-10.0	-3.4 ポイント	↓	-20.0	3.3 ポイント	↑	-15.0	0.0 ポイント	-	2019年10月	-6.6	-15.0
	2019年11月	-23.3			-23.3			-23.3					
設備操業度	2019年11月	-23.3	10.1 ポイント	↑				-23.3	10.1 ポイント	↑	2019年10月	-33.4	-33.4
	2019年11月	-10.0			-30.0			-20.0					
雇用人員	2019年11月	-10.0	13.3 ポイント	↑	-30.0	-6.6 ポイント	↓	-20.0	3.3 ポイント	↑	2019年10月	-23.3	-23.3
	2019年11月	-50.0			-36.7			-43.4					
業界の景況	2019年11月	-50.0	-3.3 ポイント	↓	-36.7	3.3 ポイント	↑	-43.4	-0.1 ポイント	↓	2019年10月	-46.7	-43.3

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	繊維工業	0	3	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	2	1	1	0	3
	木材・木製品	1	2	0	0	1	1	0	1	1	2	0	1	0	1	1	2	0	2
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	窯業・土石製品	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2
	一般機器	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	0	0	3
	電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	輸送用機器	1	4	1	1	0	1	0	1	1	4	1	1	1	1	0	1	1	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非製造業	卸売業	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1			0	1	0	2
	小売業	0	3	0	2	3	2	0	1	0	5	0	3			0	2	0	5
	商店街	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2			0	1	0	1
	サービス業	1	1			1	1	0	1	2	1	0	0			0	1	0	1
	建設業	0	2			0	1	0	1	0	3	0	1			0	2	0	1
	運輸業	2	2			0	0	0	1	1	1	1	0			0	2	1	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々歳末商材の値上げが続いているのに加え、消費増税もあったため需要薄になるのではないかと懸念している。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 織屋の高齢化により11月までに5件が廃業し、生産能力及び売上がそれぞれ減少した。組合員数も減少している。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先月の反動で対前年比8.1%ダウンした。 ・ 商品の小型化が一層進み、売上額が伸びない現状で総体的に景況は良くない。
木材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費増税の影響が大きく、プレカット工場も操業度が落ちている。 ・ 前年比でみてもほぼ不変であり堅調に推移している。増税の影響もみえない。
パルプ・紙紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増税前の特需の反動は多少あったようだが、軽微で落ち込みは少なかった様子。 ・ 家庭紙のメーカーの生産能力は機械の改造や増設工事などで増加傾向にある。
印刷同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風19号により、倉庫が土間上80cmとなり、預かり商品が約130万円ほど被害を受けた。火災共済の保険ではとても追いつかない現状。
セメント同製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士市は出荷確保できているが、静岡市の出荷低迷が続いている。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月、対前年比を下回っており、当月は下げ幅が最も大きくなった。 ・ 雇用に改善が見られる。 ・ 売上高及び収益状況が急変している企業がある。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親会社の受注状況が悪く、今後も不透明感が強いので先が読めない。 ・ 船舶関係は中国に製造を取られている為、受注・売上とも減少している。 ・ 今後5GやEVの半導体、設備投資サイクルの回復など今後の需要はありそうだが雰囲気は悪い。 ・ 電気自動車関連設備は順調ながら、自動車販売低迷もあって受注環境は総じて弱く、企業間格差もみられる。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルームエアコンは堅調な販売により生産は増加し、例年比較でも高水準で推移している。 ・ 冷蔵庫は消費増税による需要増加の影響と新機種効果により生産は増加した。 ・ 業務用エアコンは引き続き販売が好調であり、生産は昨年並みにて推移した。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員企業の売上平均値は、本年4月から7ヶ月連続減少し続けている。 ・ 米中貿易摩擦の影響で、中国から米国に輸出している自動車関連企業が打撃を受け、企業間格差が拡大している。 ・ 前月同様まだまだ厳しい状況が続く予想。 ・ 事業所間における受注量に格差が生じてきている。

非製造業

セメント 卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事現場の人手不足や自然災害の頻発等が原因で、袋セメントの需要が低迷している。結果11月も依然として荷動きは悪く、7ヵ月連続で前年実績を下回った。下期に入っても低調な出荷が続き回復の兆しが見えない。
機械器具 小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客高齢者宅を訪問し、御用聞きを行う「高齢者無料サポーター活動」を実施。また家電量販店へ訪問し適正な価格表示がされているかの調査も毎年実施している。
鮮魚 小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前月同様厳しい状況が続いている。
各種商品 小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣に大型ショッピングセンターが出店した影響で、若年層の客足が減少した。 ・ 10月は消費増税の影響で売上減少した店舗が多かったが、11月は少しもち直した。 ・ イベントやセール時は客数、売上が伸びるが、平時は静かである。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊状況については消費増税の影響はあまり感じないが、景気動向が不透明の為に館内売店等の消費が減少している。 ・ インバウンドは、団体から個人にシフトしているため全体的に客数が減少している。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ これから繁忙期を迎えるため人手不足が否めない。求人募集を出しても集まらない状況。交通誘導警備員の人手不足のため応札をあきらめるケースが出てきている。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部地区を中心に空きが出ている様子。また中部地区においても大型物件が見当たらず、繁閑の差が出てきている。西部地区においては新規着工が遅れている企業は空きが見られるが、概ね人手が足りない状況が続いている。ただ、年末、年度末に向けて手持ちの工事はある模様だが、着工時期に伴う不透明感がある。
道路貨物 運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費増税の影響か、10月に続き11月も荷物情報は減少した。通常月末週は繁忙となるが、荷動きは低調が続いた。前年同月比で大幅に減少し、コンテナ輸送も3割程減少した。 ・ 人手不足で求人でも募集しても土日休み希望が多く集まらない。

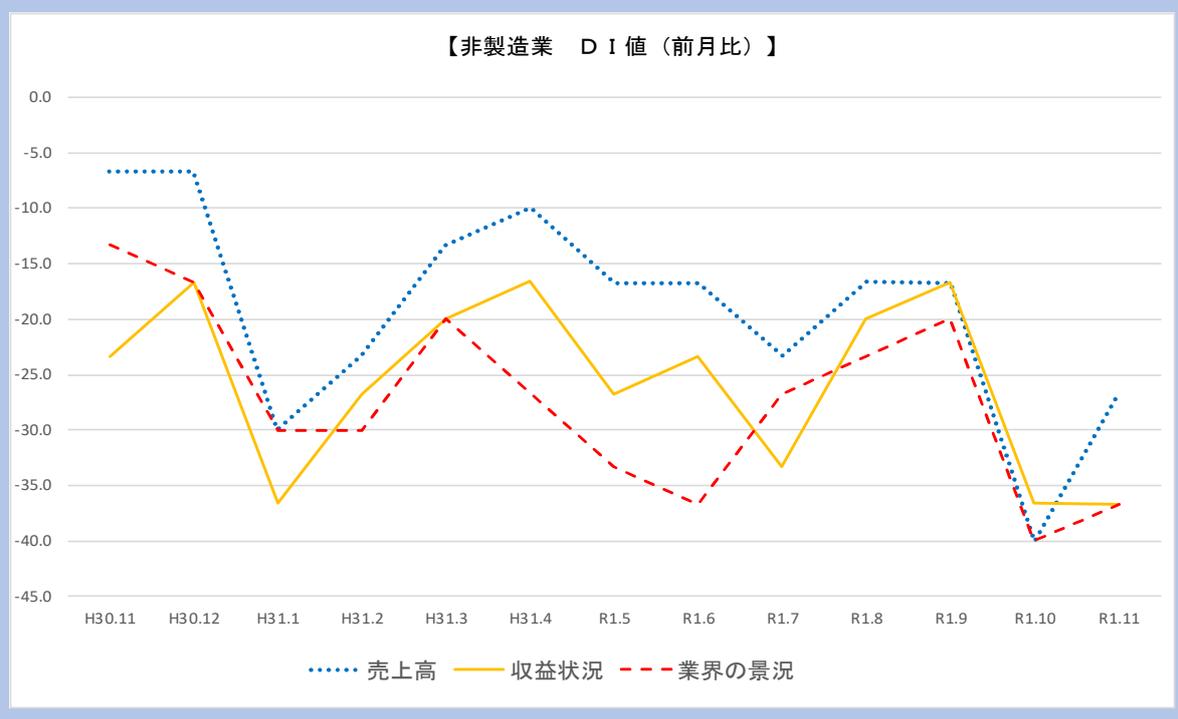
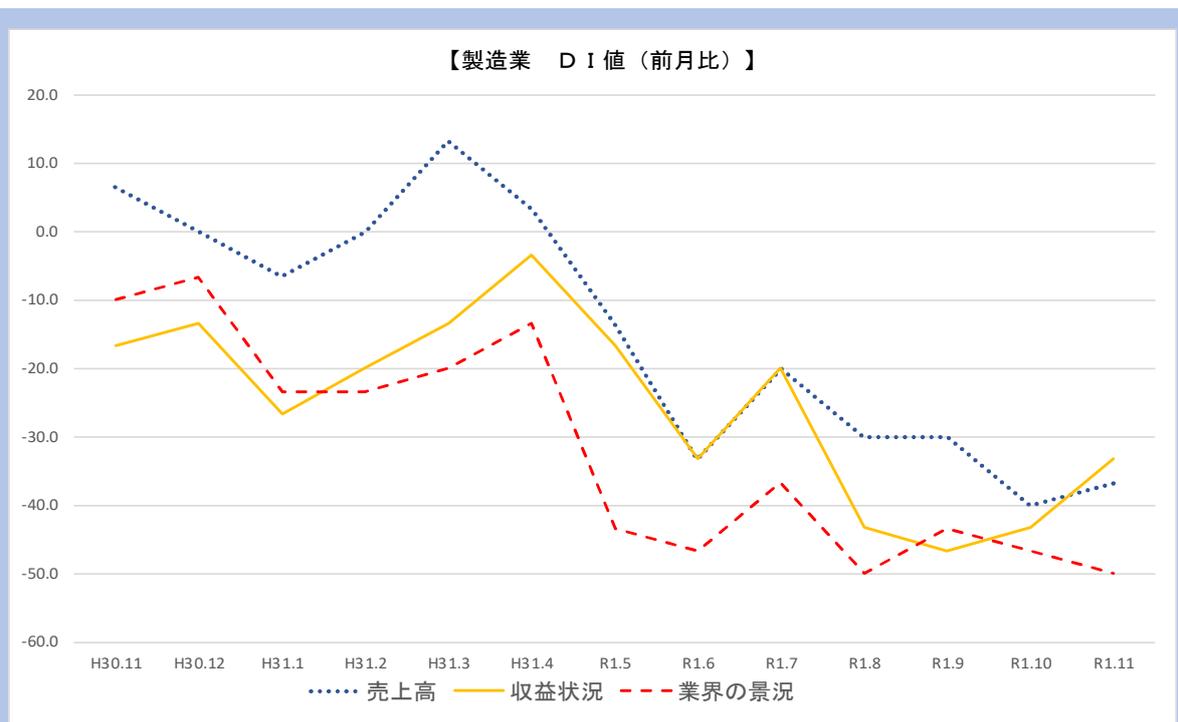
4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2018年11月期～2019年11月期までの推移

全体	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
売上高	0.0	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0	-25.0	-21.7	-23.4	-23.3	-40.0	-31.6
収益状況	-20.0	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7	-28.3	-26.6	-31.7	-31.6	-40.0	-35.0
業界の景況	-11.7	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3	-41.6	-31.7	-36.7	-31.6	-43.3	-43.4

製造業	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
売上高	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7
収益状況	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3
業界の景況	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0

非製造業	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
売上高	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7
収益状況	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7
業界の景況	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7



■2018年11月期～2019年11月期までの推移

売上高	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
製造業	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7
非製造業	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7

収益状況	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
製造業	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3
非製造業	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7

業界の景況	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11
製造業	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0
非製造業	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7

